

山形県立霞城学園高等学校IV部 (通信制の課程) のご案内 (Q&A) 普通科版

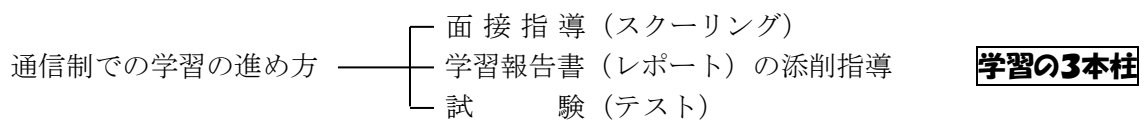
1. 霞城学園高校IV部にはどんな学科がありますか。また、その違いはどのようなものでしょうか。

普通科 … 卒業を目的として、必修科目を含めて74単位以上の修得を目指します。

服飾科 … 卒業を目的とし、霞城学園高校IV部 (通信制の課程) で38単位、技能連携校で36単位を修得すれば卒業できます。二つの学校での学習を両立しながら、卒業をめざします

科目履修生…卒業を目的とせず、自分の学習したい科目 (一つの年度で3科目以内) を学習します。

2. 通信制の課程は、どのようにして学習を進めていく課程なのでしょうか。



(1) 面接指導 (スクーリング)

全日制や定時制の課程では毎日登校し授業を受けますが、通信制の課程では、原則として月2回学校で定められた面接指導 (スクーリング) 日に出校し、教員から対面指導を受けます。

(2) 学習報告書 (レポート)

自分で教科書・学習書等を使って自宅で学習し、定められた学習報告書 (レポート) を作成して学校に提出すると、添削され返送されるという仕組みになっています。レポートが一定の水準に達していると認められて合格すれば、次のレポートに取りかかり提出することができます。レポートの合格点は50点です。不合格の場合や記入漏れ等の不備があった場合は再提出となります。

(3) 試験 (テスト)

試験 (テスト) は、定められた範囲のレポートの添削指導が済んで合格すれば、それぞれの進度に応じて、その範囲の試験を受けます。テストの合格点は30点です。

(4) 各科目について、定められた時間数以上の面接指導を受け、定められた回数の学習報告書を提出し、定められた回数の試験に合格すれば、その科目の単位が認定されます。単位の積み重ねをして、卒業に必要な単位 (74単位) の修得をめざします。

※面接指導 (スクーリング)、学習報告書 (レポート)、試験 (テスト) の回数は科目によって異なります。

3. 普通科ではどのような科目が学べるのですか。

以下の教育課程表から必要な科目を選択して学習をします。

- 一般入学生 → 「新教育課程」
 - 編入学生 → 「新教育課程」※1
 - 転入学生 → 現籍校に令和4年度以降入学 → 「新教育課程」※1
 - 〃 令和3年度以前入学 → 「旧教育課程」
- } から選択

※1 ただし、前在籍高校の単位修得状況や「新教育課程」の科目の開講状況によっては、「旧教育課程」の科目を学習することもあります。

【令和4年度以降 教育課程表（新教育課程）】

教科	科目 () の数字は単位数
国語	現代の国語(2)、言語文化(2)、 国語表現(4) 、論理国語(4)、文学国語(4)、明日への国語(2)
地歴	地理総合(2)、 地理探究(3) 、歴史総合(2)、日本史探究(3)、 世界史探究(3)
公民	公共(2)、倫理(2)、 政治・経済(2)
数学	数学Ⅰ(3)、数学Ⅱ(4)、数学A(2)、明日への数学(2)
理科	科学と人間生活(2)、物理基礎(2)、化学基礎(2)、生物基礎(2)、地学基礎(2)、化学(4)、生物(4)
保健体育	体育(7)、保健(2)
芸術	音楽Ⅰ(2)、音楽Ⅱ(2)、美術Ⅰ(2)、美術Ⅱ(2)、書道Ⅰ(2)、書道Ⅱ(2)
外国語	英語コミュニケーションⅠ(3)、英語コミュニケーションⅡ(4)、 論理・表現Ⅰ(2) 、明日への英語(2)
家庭	家庭総合(4)、保育基礎(3)、 フードデザイン(3) 、
情報	情報Ⅰ(2)
商業	ビジネス基礎(4)、 ビジネス法規(4) 、簿記(4)
心理	自分さがしの心理学(2)
総合	総合的な探究の時間(3)

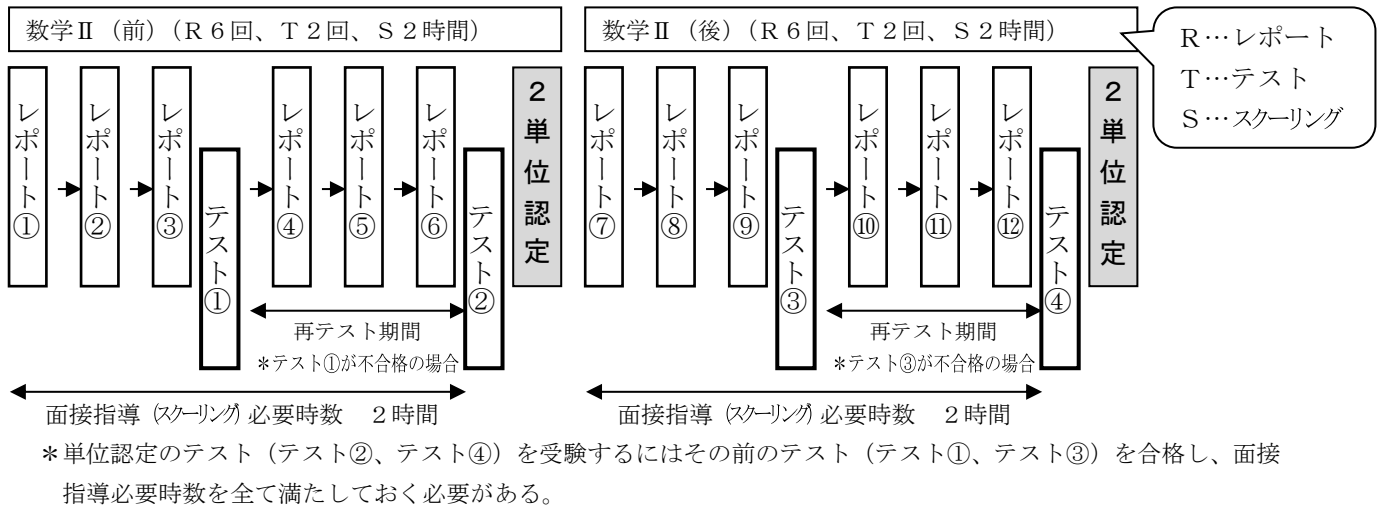
※「新教育課程」の科目は令和4～6年度にかけて段階的に開講していきます。なお、下線を引いた科目は、令和6年度に開講予定です。

【平成25年度以降 教育課程表（旧教育課程）】※「旧教育課程」の科目は、令和5年度末に閉講予定です。

教科	科目 () の数字は単位数
国語	国語総合(4)、国語表現(3)、現代文A(2)、現代文B(4)、古典A(2)、古典B(4)、明日への国語(2)
地歴	世界史A(2)、世界史B(4)、日本史A(2)、日本史B(4)、地理A(2)、地理B(4)
公民	現代社会(2)、倫理(2)、政治・経済(2)
数学	数学Ⅰ(3)、数学Ⅱ(4)、数学A(2)、明日への数学(2)
理科	科学と人間生活(2)、物理基礎(2)、化学基礎(2)、生物基礎(2)、地学基礎(2)、化学(4)、生物(4)
保健体育	体育(7)、保健(2)
芸術	音楽Ⅰ(2)、音楽Ⅱ(2)、美術Ⅰ(2)、美術Ⅱ(2)、書道Ⅰ(2)、書道Ⅱ(2)
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ(3)、コミュニケーション英語Ⅱ(4)、コミュニケーション英語Ⅲ(4)、英語表現Ⅰ(2)、英語表現Ⅱ(4)、明日への英語(2)
家庭	家庭総合(4)、フードデザイン(3)、子どもの発達と保育(3)
情報	社会と情報(2)
商業	ビジネス基礎(4)、ビジネス実務(4)、簿記(4)
心理	自分さがしの心理学(2)
総合	総合的な学習の時間(3) または 総合的な探究の時間(3)

**4. 面接指導（スクーリング）、学習報告書（レポート）、試験（テスト）をどのように進めれば単
位が認定されるのですか。単位制高校としての利点はどこにありますか。**

教科・科目の単位修得に必要な時間数やレポート・テストの回数は、科目によって異なります。例
えば、数学Ⅱ（4単位）について学習の進め方を図示すると、次のようになります。



単位制の特長をいかした通信制の学習として

- (1) 在籍期間の中で単位を積み上げて卒業を目指します。

学年や学期の区分がないため、定期試験の代わりに、年間70日程度設けられている試験日から自分の学習進度に合わせて日程を選び受験します。ただし、指定された日までに受験あるいは合格しないと、その科目の学習が進められなくなるという「閉門日」が設定されています。一年一年単位を修得していき、合計が74単位以上になるようにしていきます。

- (2) 小刻みな学習評価を行っています。

4単位以上の科目では図のように2単位ずつの分割単位認定を行っています。後半部の学習の途中で年度末となっても、原則、次年度は後半部のみの再履修となり、前半部の学習が無駄になることはありません。学習期間のロスを少なくすることができる学習システムです。

5. 登校日は月2回だけなのですか。それ以外には面接指導日はないのですか。

計画面接指導日は原則として月2回、日曜日に設定されています。また、この日に出席できなかった人やさらに理解を深めたい人のために、補充面接指導日を設けています。その他、随時登校して直接指導を受けることもできます。面接指導日以外に図書室や自習室で学習している生徒や、教員に質問をしている生徒もいます。

面接指導日に登校できない人や昼間は登校が難しい人のために、本校にて18時から19時40分まで学習会（山形支部）を5月～12月の期間に計24回程度、木曜日に実施しています。

遠距離により通学困難な人のために、置賜総合文化センター（米沢支部）、置賜生涯学習プラザ（長井支部）、最上広域交流センター「ゆめりあ」（新庄支部）、フローラ寒河江（寒河江支部）においても、5～10月の期間に計9回程度、金曜日に本校（山形支部）と同じ時間帯で学習会を実施しており、面接指導を受けることができます。

また、学習していく中でわからないことが出てきた時には、学校に電話・郵送・ファックス・メールで質問をすることもできます。さらに、テレビ・ラジオのNHK高校講座を視聴し、所定の「視聴票」を提出すると、その内容に応じて面接指導時数の一部として認定される科目もあります。

6. 面接指導日にだけ登校し、科目の単位さえ取れば卒業できるのですか。

単に科目の単位を取っただけでは卒業できません。決められた出校日数と、決められた時数の特別活動に出席することも卒業の必要条件となります。

中学校を卒業後すぐに本校に入学した生徒（高校への入学経験のない生徒）は、出校は卒業までに70日以上（そのうち1/2以上は本校への出校）、特別活動は卒業までに30単位時間以上に出席することも卒業の必要条件となります。

高校への入学経験がある生徒については以下の通りです。

前籍校での修得単位数	本校においての		
	必要な在学期間	必要な出校日数	必要な特別活動時数
0単位～13単位	3年以上	70日以上	30時間以上
14単位～43単位	2年以上	50日以上	20時間以上
44単位以上	1年以上	25日以上	10時間以上

特別活動には、学校行事（入学式、始業式、創立記念式典、終業式、卒業式など）、生徒会活動（対面式、生徒総会、校内生活体験発表会、通教祭など）、ホームルーム活動があります。

7. 一度手続きをした科目は何年かかって学習してもよいのでしょうか。

履修科目の学習期間はその年度内に限られています。そして、1年ごとに履修登録が必要です。履修した年に単位が修得できなければ、次の年度に改めて履修登録をして学習します。ただし、4単位以上の科目で、前年度に分割単位認定により単位の一部が認められた場合には、残りの部分のみの再履修となります。（ただし、教育課程の変更や教科書の改訂等により、再履修ではなく、最初から学習し直しになる場合もあります。）

8. 卒業までに何年かかりますか、また在籍は何年間できますか。

本校は単位制をとっており、普通科には学年がありません。卒業まで何年かかるかは一人一人の単位修得状況・出校状況によって決まります。1年間で履修・修得できる単位数の上限は30単位です。卒業の認定に必要な修得単位数は74単位以上ですので、最短では3年間で卒業することが可能です。在籍期間は最長で10年間です。転居先不明により連絡が不能となって2年以上経過すると除籍となります。

9. 年間に必要な経費はいくらですか。

年間にかかる費用は主に受講料・諸経費・教科書等代になります。

【受講料】

1単位あたり300円です。

1年間で履修できる単位数は最高で30単位です。年間の受講料は、300円×30単位＝9,000円以内となります。ただし、必要書類と共に申請書を提出し、県から認定されれば受講料が不要となる就学支援金制度があります。

※受講料の計算 1単位300円×履修登録単位数

【諸経費】

新入生は生徒会費や通友会費その他が約11,000円程度かかります。（令和4年度参考）

4月、入学前の手続き時に現金で一括納入します。

【教科書・学習書・副読本】

履修する科目によって異なりますが、15,000円～20,000円程度かかります。（一定の条件を満たした者が申請する購入費補助制度有り）

4月、指定の期間中に指定場所にて購入します。

その他行事等によっては、参加する際に実費を負担することがあります。

10. クラス編制はどのようになっていますか。

同じ入学年度の生徒の中でクラスを編制します。年齢も、本校入学前の経歴も様々です。どの科目を履修しているかも一人一人違うので、クラス単位で一斉に授業するということではなく、時間割を見てそれぞれ教室を移動することになります。

HRなどの特別活動も、クラス全員で活動をするということはほとんどありません。

普通科は学年制ではないので、原級留置（留年）という考え方はありません。そして、全日制の高校のようにクラス全員がそろって卒業をすることもありません。

11. 部活動について教えてください。運動部の大会にはどのようなものがありますか。

運動部として、陸上競技、バドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボールがあります。また文化部として、書道、囲碁・将棋、手芸、PCキャリアがあります。

また、運動部は次の大会に参加しています。

- ① 県定時制通信制総合体育大会（6月）
通信制では、陸上、バドミントン、卓球競技に参加します。
- ② 全国定時制通信制総合体育大会（8月）
県大会を通過した団体、個人が出場します。

12. 卒業後の進路について教えてください。

令和3年度卒業生64名（普通57名、服飾科7名）の進路状況は以下のとおりです。

	進学	就職	その他	合計
普通科	28	7	22	57
服飾科	3	3	1	7
合計	31	10	23	64

進路先一覧（令和3年度卒業生）

四年制大学	東北文教大学 東北芸術工科大学 札幌国際大学 ルーテル学院大学 京都産業大学
短期大学	羽陽学園短期大学 川口短期大学
通信教育部 放送大学	放送大学 日本大学通信教育部 京都芸術大学通信教育部
専修学校 (専門課程) 各種学校	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校 大原スポーツ公務員専門学校山形校 国際外語観光エアライン専門学校 大原学園東京アニメーター学院専門学校 仙台総合ペット専門学校 東京IT会計専門学校 仙台ヘアメイク専門学校(通信制) 日本工学院専門学校 山本学園専門学校山形V.カレッジ【服】 マロニエ医療福祉専門学校 東京外語観光専門学校
就職	ヤマザワ、(株)伊藤熱処理、(株)昭和館 (株)ハザキエンジニアリング 特別養護老人ホームとがみ共生苑あかしあ共生苑、いがらし犬猫病院 社会医療法人公徳会、(株)山口製作所【服】 特別養護老人ホーム白光園【服】、特別養護老人ホームひめさゆり荘【服】

13. IV部に在籍していても、I II III部で授業を受けることができますか。また、最初はIV部に在籍して、途中からI II III部に移ることはできますか。

IV部での学習が順調であれば、2年目からI II III部で授業を受けることができる制度（部間併修）があります。ただし、通信制で開講していない科目であり、かつその科目が大学受験等で必要な場合など、履修するための条件があります。

I II III部（定時制）に移る転籍については、転籍の条件をすべて満たした場合のみ、I II III部が行う転学試験を受けることができます。

14. その他

- (1) 高等学校卒業程度認定試験や大学入学資格検定に合格した科目のうち、本校で開講している科目については、卒業に必要な単位として認める制度があります。（条件あり）
- (2) 技能審査検定試験（日本漢字能力検定、英語検定など）に合格していれば、教科・科目の増加単位として認定する制度があります。（条件あり）
- (3) 本校で開講している生涯学習講座を受講することができます。指定された科目において、生涯学習講座の修了証をもって、増加単位として認定する制度があります。

15. 出願する上での注意点

- (1) 山形県公立高等学校の併願での出願はできません。
- (2) 他の山形県公立高等学校や本校定時制を受験予定または受験し合格した場合、通信制への出願はできません。
- (3) 他の山形県公立高等学校や本校定時制が不合格だった場合は出願可能です。その場合の受付及び選考日は最終日のみとなりますので、出願書類は事前に準備しておくようにした方がよいでしょう。
- (4) 出願は山形県内の市町村に本人・保護者が住民登録している方に限ります。
ただし、震災により福島県等から避難していて、山形県の中学校を卒業見込みの方については、山形県内への住民登録を条件としません。この場合、在籍中学校の所在地を受験生の現住所とみなし、出願できるものとします。
なお、県外の中学校をすでに卒業した方については、受験の際に住民票を証明書類として提出いただくことになります。
- (5) 願書に添付する山形県収入証紙は、過不足なく300円分を貼付して下さい。

不明な点は、以下にお問い合わせください。

山形県立霞城学園高等学校IV部（通信制の課程）	教務課
〒990-8580 山形市城南町一丁目1番1号	
023-647-0522	（電話）
023-647-0527	（FAX）